



広島 工大 同窓会 会報

第28号

発行
広島工業大学同窓会

編 集

同窓会編集委員会

731-51 広島市佐伯区三宅丁1-1

広島工業大学内

TEL.0829-21-3121 (内)570

風が雲が虹色の夢が
舞い飛び舞いおりた
思い出の中へ
いざ帰る来よ青春の朋輩



同窓会会長
水見 憲吾

同窓会三十周年の 節目と近未来の潮流

暑い日が続いていますが、同窓生の皆様にはお元気でご活躍の事と拝察いたします。さて、本年の総会はプロ30周年と位置付け、全日空ホテルで開催致しました。この際、多数の方に参加して戴きましたことをまず御礼申し上げます。

存じのように同窓会も、いよいよ30周年の節目を迎えようとしていますが、過去10年日は、当時の「時の人」横井庄一様をゲストを迎え、また20周年の節目時には、NHKから和久井孝太郎様を迎え、ニューメディアのお話をして戴きました。来年の30周年は「ホームカミングデー」のテーマの元、母校広島工業大学の体育館に於

いて開催するべく現在準備中です。役員一同が各々の役を分担し、楽しい会になる様に計画しておりますので、万障お繰り合わせの上ご参加下さる様、お待ちしております。

ところで、近年は政治経済を始めとして、国際社会に於いても激動の年が続いています。時代の潮流はまさに大きく変化していますが、これを幾つかのパターンで表現できると 생각합니다。第1に人口の高齢化、第2に経済の安定成長化、第3に社会の情報システム化、第4に社会の成熟化、第5に国際化です。企業も人の一生に似て誕生・成長・成熟・衰亡という変化を辿りますが、次々に新技術を開発し、新しい事業を喚起して長寿を保つ企業集団もあれば、旧技術に固執しているうちに凋落の一途をたどる企業もあります。次に近未来に変化するであろう企業と社会の波を、記してみたいと思います。

(1)新技術が成長の原動力：(マイクロ)エレクトロニクス・新素材・生命工学・新エネルギー等

(2)炭素繊維・光通信・マルチメディアが次の基幹産業になる

(3)高齢化社会症候群と膨張する健康産業及

び機器類

(ニ)技術革新の見込めない産業：繊維や製糖は斜陽化して久しいが、わが国の高度経済成長を支えてきた重化学工業が今日、重大な瀬戸際に立たされている。

(四)鉄鋼・自動車も成熟から衰退へ：中進国製品の流入で第2の繊維になる家電産業、いかに名門企業といえどもライフサイクルの終わった産業、衰退産業に属している企業は、複合化、他業種に脱皮を計っていかねば生き残れない

(ハ)総合商社は没落する。銀行は半減する、損保の凋落は早まる

(ト)ニューメディアは新聞を減らす

(イ)排廃物処理産業の隆盛

等々があげられます。

このような時代環境の社会であればこそ、同窓生同士情報交換をし、協力関係を持つ事ができれば、理想的同窓会集団になると思います。厳しい時代ですが共に助け合い、ます来年の30周年という節目の同窓会総会に於いて、共に語り合いと願っております。皆様方のご活躍を期待しております。

広島工業大学の学長が、平成6年4月の新学期を期して鶴 喜先生から、川崎 尚先生(前広島大学医学部長、同評議員(医学博士)へとバトンタッチされました。みなさんご存知のとおり鶴先生(現総長、理事長)は大学創立の昭和38年4月から48年3月まで初代学長として10年間、さらに52年4月から今年の3月まで通算して17年間に、大奮闘されて広島工大を今日の発展に導かれました。その偉業について、広島工業大学を率いてくださる川崎尚先生に登場いただき、今の心境をみなさんに語っていただきました。

学長就任の ご挨拶

広島工業大学
学長
川崎 尚



20年以上にわたるお付き合いを通じ、尊敬申し上げていた鶴喜総長のご推挙により、本年4月1日学長に就任致しました。昭和38年創立以来、既に卒業生23,000人を数える伝統ある広島工業大学の重責の一翼を担うことになり、鶴総長のご指導の下に、身の引きま

る思いで毎日を勤めております。今回、同窓会会報の紙面をお借りし、平素から母校に絶大なご協力を賜っている同窓会会員の皆様にご挨拶できますことをまことに光栄に存じます。

学長就任後100日を経過した現時点では、まだ広島工大の全体像

が漸く見えてきたところです。一番の印象としては、「教育は愛なり」という建学の精神の下に、実に真面目な教育が行われていることです。入学試験もまた然り。このことが基礎学力の充実につながり、工大卒業生の各企業における高い評価と納得していることを実感しております。

ご承知のように、18才人口の激減に伴い私立大学は冬の時代を迎えると喧伝されています。わが広島工大で、これを逆手にとって平成5年4月に建築学科を改組転換し、わが国で初めての環境学部環境デザイン学科を発足させ、順調に2年目を迎えています。隣りの岡山大学で、工学部土木工学科が中心になり、複数学部の一部が参加するリストラの結果として環境理工学部の設置(本年10月)が認められ、土木工学科は環境デザイン工学科に改組されます。このことから広島工大の先見性がおわかりいただけると思います。

21世紀へ向けてわが国が志向するところは、高度先端科学技術立国以外にはありません。この線に沿ってわが工大でも平成元年に大学院工学研究科修士課程(3専攻、

計30名)が発足したことはご承知の通りです。その後々々入学者もふえ、本年度は86名が熱心に研究に励んでいます。次の段階として学内的にも社会的にも博士課程の設置が望まれ、現在その構想の検討を始めており、早い機会に設置申請をする予定です。これに引き続き、現在1学科構成である環境学部は平成8年度に完成年次を迎えようとして、平成9年度に向け学科学増設を行うべく準備を進めております。

現時点でわが工大の最大関心事は就職問題です。厳しいといわれた昨年度は、幸いにも同窓会会員の方々の社会における活躍のお蔭で、希望者全員の就職を達成できました。今年は学科による違いはありますが、全体的に昨年よりかなり悪い内定状態です。日々、大学挙げて就職率100%目指して取り組んでおりますが、会員の皆様にも是非ともお力添えをいただきますようお願い致します。

最後に、私自身広島工大の発展のために全力を尽くす覚悟ですので、会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

Message 同窓生通信

NTTヒューマンインタフェース研究所

尾崎 昭夫

(平成2年 電子工学科卒)

大学を卒業してから、はや4年が過ぎました。今思い返すと学生時代が懐かしく思い出されます。

さて、私は平成2年4月に会社に入社後、8ヶ月程度を販売、故障修理、窓口等の現場研修を倉敷で受けました。そして、平成2年12月に希望していた開発部門に配属されることとなり、中国支社の開発センターでサービス開発を行うことになりました。

開発センターでは、主にC言語を使ったソフト開発を行ってまいりました。アプリケーションソフトの開発も行いましたが、中には、ROM内ソフトを作るということも行いました。このときは、ROM化に都合の良いCコンパイラがあったこともありましたが、大学のゼ

ミでの8bitマイコンボードの作成(私は設計までしかできなかったのですが)が大いに役立ちました(もちろんデバイス関係、C言語の授業もです)。

そして、開発センターと研究所のあいだに交流があり、毎年人が行き来していたという経緯と、以前から私自身希望していたこともあり、平成6年3月に現在の研究所に転勤することとなりました。

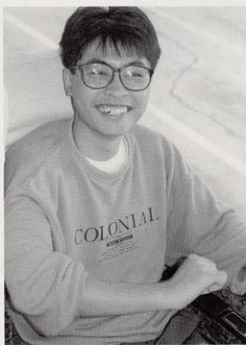
現在の職場ではN-ISDN(Narrow Band-ISDN:現在実際にサービスが提供されている、INSネット64、INSネット1500)上でのマルチメディアサービスについての研究開発を行っています。

最近特に、マルチメディアとい

う言葉がテレビ、雑誌等でよく見られます(混濁しているといったほうが良いくらいですが)。VOD(Video On Demand)をはじめとするオンデマンドサービス、マルチメディアをうたい文句としているパソコン、PDA(Personal Digital Assistance)、ソフトウェア等々花盛りといった感じですが、また、企業間の技術提携なども活発で、マルチメディアの利用実験も各所で予定されているか、あるいは行われていて、この分野は今後ますます発展していくと考えられます。

しかし、ここでマルチメディアとは何かと言われると、人それぞれでありかなり曖昧な要素を含んでいます(実際、私も模索中です)。逆に、曖昧だからこそ様々な分野に受け入れられ発展

していく可能性が大きいのではないかと考えられます。そして、今後の展開としては、エンドユーザーを受け入れられる魅力あるサービスを開発提供していくことが必要だと考えています。





第29回定期総会の報告

広島工科大学同窓会 幹事長 手越 義昭

平成6年度の広島工科大学同窓会総会は平成6年4月24日(日)午後4時30分～午後5時30分まで、懇親会が午後5時30分～午後7時30分まで広島日空ホテル(3階大宴会の間)で開催されました。また、本年は昨年引き続き懇親会の開催に先立ち全国の地域支部、県支部、職場支部から支部長に出席頂いて各支部における活動状況の報告や同窓会に対する意見や活発な情報交換をいたしました。総会では本見恩吾会長から平成5年度の活動内容の主なものについての報告がありました。役員改選では、本見恩吾会長(昭和42年電子工

科)が再任され、幹事長には手越義昭幹事長(昭和49年建築学科)が再任されました。懇親会では、ゲストとして「ダニー-飯田とパラダイスキング」を同窓会を盛り上げました。なお、同窓会を盛り上げることをおられる方々に対して、第29回同窓会・懇親会を同窓会の創立すべき30周年記念行事の前夜祭として盛り上げる意味で、特別ゲストとして迎えた歌手の出演料および活動資金に対する寄付をお願いいたしましたこと、大変多くの方々から寄付を頂きました。ここに感謝の意を表します。次回の総会は、同窓会の役員は次回より必ず一一声声かきで多くの同窓生に参加願いたいと考えています。平成6年度の活動方針につきましては、同窓会創立30周年記念行事に向けた活動を柱として、同窓会(支部活動)活動の活性化を進めるとともに、同窓会名簿に関するメンテナンス活動を充実させることをしつとく考案しております。以下に、定期活動方針を掲記しておきます。

1) 会誌・会報の発行。2) 同窓会名簿の発行。3) 同窓会名簿に関するメンテナンス活動。4) 支部活動の活性化。支部との連携の強化。5) 在学生支援。6) 同窓会業務の改善との連携。7) 財務管理。その他、今後の同窓会のあり方についての検討。

広島工科大学同窓会 名古屋支部が発会!

支部担当 小西 正明

母校広島工科大学が入学試験において平成5年名古屋で初の地方試験を行うことになった事を受け、早くより名古屋地域で卒業生の進捗会をいう声もあり、新東工業新築製作所に勤務の打田博之氏(電気学)たちのリードで、そのための準備打ち合わせが11月27日(土)名古屋市内で各学部の有志の皆さんによりもたらされた。その後愛知県全体の同窓生の連絡員など協力者の輪が広が。平成6年2月5日に2日目の準備会もたら5月28日(土)午後5時より名古屋駅前のホテルユキアザラシにて名古屋支部発会式が開催される運びとなりました。

平成6年5月28日の発会式には愛知県各県より38名(電子3名、電気8名、機械13名、土木5名、建築3名、経営2名)の同窓生の皆さんと母校より学園総長・理事長で前市長の鶴賀先生と本学の顧問で名城大学学長、名譽教授の藤吉正之先生、そして学部長の佐藤美生先生(建築学)・土木工学科教授)水野O君や電子工学科の川畑誠志先生と同窓会支部担当の幹事の手越先生と私、支部担当の小西正明の6名が出席いたしました。また、総長鶴賀先生は、支部発会を祝し、多忙なスケジュールをまげて遠路名古屋の地までかけつけ、特別講演までしていただきました。顧問の藤吉先生には広島がふるさとして広島工大は名城大学と同じようにとてもいきい大学であると名古屋地区のOB生皆さんに助

ましのことをいいた、学務部長佐藤先生からもお祝いのご言葉をいただきました。同窓生は久しぶりの恩師の顔ぶれに感激していました。同期テーブルに配慮された懇親会、情報交換会が20数年ぶりの再会、母校のビデオや「広島工大」などの母校の資料などよりのふるさと学ひ会「広島工大」での思い出話に花を咲かせました。同期ご同窓生1人1人の一言スピーチもあり、とてもなごやかな発会式となりました。新役員スタッフも全員が笑顔で、新たな気持ちで次の再会までの活躍を期待しつとく頑張りました。(文責 機械工学科・小西正明)

- 同窓会名古屋支部役員は次の方々です。
- 支部長 打田博之 (電気)
 - 副支部長 森田正治 (電気)
 - 事務局長 松下典一 (建築)
 - 幹事長 坪本昌男 (機械)
 - 副幹事長 西野福久 (電子)
 - 幹事 細川貴成 (電気)
 - 幹事 山本 孝 (機械)
 - 幹事 山本 誠 (土木)
 - 幹事 加藤 晃彦 (建築)
 - 幹事 前田健治 (経営)
 - 会計 橋島秀典 (機械)
 - 書記 紙尾光治 (機械)
 - 監査 近藤弘幸 (機械)

広島工科大学同窓会名古屋支部発会式



第29回定期総会



平成6年度 同窓会役員

氏名	卒業年	学科	氏名	卒業年	学科
会長 水見 憲吾	42	経営	幹事 近宗 貴 45	経営	
副会長 道田 隆治	45	経営	幹事 荒川 隆 45	経営	
幹事長 手越 義昭	49	建築	幹事 加藤 伊吾	44	機械
副幹事長 村中 昭典	59	土木	幹事 中田 時生	46	電気
会計 松島 尚	58	経営	副幹事長 藤村 邦彦	56	建築
小池 利夫	42	機械	評議員 藤原 潤一	38	電気
坂井 元隆	63	機械	曾本 昭起	38	〃
高橋 明	49	機械	森田 忠雄	44	〃
寺地 越二	41	電子	大森 康博	55	〃
書記 内本 博雄	41	建築	高木 房貴	41	電気
中畑 正二	55	経営	可木 英樹	41	〃
幹事 杉田 謙二	39	電子	森脇 富弘	49	〃
村田 忠志	41	〃	松原 昌史	51	〃
川畑 敬志	42	〃	木村 一彦	44	機械
玉野 和保	44	〃	田村 憲一郎	44	〃
重広 孝則	46	〃	坂本 幸雄	45	〃
楢上 孝治	42	電気	谷口 義夫	45	〃
原田 義治	44	〃	峠 勝彦	46	〃
沖畑 光夫	44	電子	藤川 正博	47	〃
青山剛之丞	42	〃	松村 拓典	51	〃
松江 孝博	43	機械	立花 千秋	55	〃
小西 正明	43	〃	櫻生 道夫	47	土木
中西 助次	43	〃	柳谷 守一	46	〃
森茂美治郎	43	〃	川上 澄夫	51	〃
吉田 和信	55	〃	三上 明夫	44	建築
山下 一彦	55	〃	横山 健次	44	〃
水添 健治	61	〃	中塚 晴夫	44	〃
鈴村 文寛	62	電子	金堀 一 45	〃	
松岡 泰弘	63	機械	下田 卓夫	50	〃
伊藤 秀敏	45	土木	松本 孝志	52	〃
大林 晃	55	〃	森宮 正 53	〃	
菅原 節彦	44	建築	村 孝 45	経営	
菅 雄三	59	土木	前原日出夫	49	〃
岡田 弘隆	45	経営	岡本 健二	53	〃
西野 達夫	49	〃	高村 直樹	57	〃

平成5年度同窓会会計報告

収支決算	金額	収支決算	金額
平成5年度総収入	23,391,223	平成5年度総収入	17,155,505
平成5年度総支出	18,415,246	平成5年度総支出	900,000
残高	4,975,977	残高	16,255,505
収入の部	3,194,707	収入の部	15,235,198
平成4年度繰越金	3,768,000	基金	900,000
入会金	15,444,000	奨学金基金繰入金	168,000
終身会費	380,000	助成費剰余金	469,977
総会会費	367,781	合計	382,300
預金利息	236,735	合計	17,155,505
合計	23,391,223		
支出の部	4,390,890	支出の部	900,000
印刷製本費	1,314,289	奨学金	900,000
会合費	300,000	合計	900,000
支部費	1,232,000		
助成費	4,855,280		
通信運搬費	805,981		
消耗品費	984,040		
旅費交遊費	32,000		
役員手当	1,299,023		
委託費	10,695		
福利費	30,990		
保険費	73,196		
備品費	18,952		
雑支出	1,000,000		
同窓会基金繰入金	900,000		
奨学金基金繰入金	1,000,000		
30周年記念立金	168,000		
助成費剰余金	子留費		
合計	18,415,246		
基金の部	116,436,555		
平成4年度繰越金	2,000,000		
本会計より繰入	3,929,121		
預金利息	122,365,676		
合計			

平成5年度総収入	金額
平成5年度総収入	17,155,505
平成5年度総支出	900,000
残高	16,255,505

平成6年度予算

平成5年度繰越金	金額	平成6年度繰越金	金額
平成5年度繰越金	4,975,977	平成5年度繰越金	4,975,977
入会金	3,342,000	入会金	3,342,000
終身会費	14,796,000	終身会費	14,796,000
総会会費	0	総会会費	0
預金利息	150,000	預金利息	150,000
合計	23,373,977	合計	23,373,977
支出の部	4,622,000	支出の部	4,622,000
印刷製本費	1,798,000	印刷製本費	1,798,000
会合費	610,000	会合費	610,000
支部費	1,400,000	支部費	1,400,000
助成費	6,002,000	助成費	6,002,000
通信運搬費	1,066,000	通信運搬費	1,066,000
消耗品費	1,800,000	消耗品費	1,800,000
旅費交遊費	32,000	旅費交遊費	32,000
役員手当	1,508,000	役員手当	1,508,000
委託費	0	委託費	0
福利費	100,000	福利費	100,000
保険費	150,000	保険費	150,000
備品費	160,000	備品費	160,000
雑支出	50,000	雑支出	50,000
同窓会基金繰入金	1,000,000	同窓会基金繰入金	1,000,000
奨学金基金繰入金	1,000,000	奨学金基金繰入金	1,000,000
30周年記念準備金	1,175,977	30周年記念準備金	1,175,977
子留費	23,373,977	子留費	23,373,977

奨学金会計報告

収支決算

近況報告PART I

先日、ふよう、元気か……との構上先生からの電話の音に感力しさとともに、学生時代に交った一生を得た。昭和41年入学、当時は学生と先生の年齢が近しいせいか、一緒に学び、一緒に研究するという気風が強かった。又、学生も非常に器用で、遊び、クラブ、勉強と、それぞれ熱心であった。一人として同じクラブの人間がいなかったと思う。かといって、なにが事である、なぜかみんな一致協力したものである。そんな気風はいまも続いている。大学卒業後、日本電気広島中央研究所に入社、その後、社名変更を経て、現在の日本ベンチャーとなった。早いもので24年が経過した。入社当初、同級生の西原、中村(旧姓津島)が入社し、後日平田が加わり今に至っている。後日の仕事は、90%が電力関係で、配電自動化システム、ダム・グートの自動制御装置、一般家庭や工場での電圧電流を計量する電子式電力計等々の

製造と、新技術開発の委託研究を行っている。なかでも、配電自動化システムは、今年1システムを市民院(台電)に輸出し、社内で、光通信の利用、開発に着手している。残り10%は、家電関係で、音響機器の組立、無線機等情報通信機器の組立製造を行っている。現在、総従業員10人の専任企業である。我がの会社は、ハードウェアエンジニアを結ぶさせシステム技術開発を中心とする未来志向の会社であり、我がの造る機器が社会に役立つもらえるもの確信し、日夜努力している。さらなる情報化時代に対応し、発展させるために今後も経営者の積極的参加を希望している。これまで、学校で学んだ基礎を土台に、新しい仕事に一つ一つ応えてくれたのだ、このうえない喜びと感謝している。今後とも、同窓生3人(津島、無類、技師)力を合わせて、よりいっそう発展のため努力してまいります。諸先生方にも、今後よりいっそうの御指導とお知恵を拝借したいと思っております。最後に同窓生皆様のご多幸とともに繁栄を心からお祈り申し上げます。

中村 勉
(旧姓津島)
(昭和45年電気工学科卒業)
日本ベンディング機



工大ですらんど

早いもので平成6年が過ぎようとしています。今頃この原稿を書くにあたり、いろいろの感慨を抱いて充ちて了った学生生活の心の底をめぐりとく懐かしい思いがいたします。

現在、私はエアーコンプレッサー株式会社の機空圧空圧整備課に勤務しております。一般に言われるエアーコンプレッサー整備はランニング、ドッグラン、スワッチ部門に大別されるが、当社では、「整備の筆と書けるライン整備部門」と、ライン整備を要する「量での力持ち」の分類と存在するスワッチ部門の二つに分かれています。私がたずさわっているのは、このライン整備であります。が、「筆」と書けることで決して筆か加職ではありませぬ。

エアーコンプレッサー整備部門においては、安全に、定時性を確保しつつ、なおかつ快適に航空機を飛ばすことが最大の使命であります。これらの条件を達成し、お客様に満足していただくには、常に航空機の性能を、極々にアップ熟練で、維持、管理していく必要があります。この維持、管理の作業を実際に現場で行なうのが、ライン整備です。主にこれらの作業は、Departure Check→出発前点検、Route Check→飛行前点検、Arrival Check→到着前点検、と呼ばれている場で実施され、各々の機体によって異なるが、整備が毎日くり返し行なわれています。

突然ながら、大学の研究が専念せずと結びつかなかったりありますが、4年間の学生生活で身につけた事は仕事をこなす上でいっしょでなくてはならない

近況報告PART II

います。例えば、学生生活にける不規則な生活は、そのままだらにシフト勤務の1ターンに含められ、昼夜の区別なく、また夜を越して過酷にも、研究に打ち込むとで身につけられた強靱な体質は、各種難関での海外作業など、厳しい自然環境下の作業が多い職種では、必要不可欠とも言えるでしょう。

とにかくこれまで忙しい仕事ではありますが、その反面、相対では暇な日である充実感を感じる今日この頃であります。

JULY 3, 1994, 19:05. of Sapporo Coffee Shop
Coffee Shop-Kita
Special Thanks to
G. "OYABUN", KATAYAMA, K.INOUE (叔正), さらには古書、宜しく思い出いたします。
H. "PHOTO GRAPHER" SATOH, M. UENO, S. NISHIKAWA, H. TANFO, M. OHKAWA, F. "GOYOHU-KA" MURATA, S. OHNISHI.

大宮 孝彰
(平成5年機航工学科卒業)
エアーコンプレッサー整備工場



広島工業大学からのお知らせ

平成7年度の入学試験概要がきまりました

大学入試本部の一環として推薦入学試験のあり方について改善が求められています。本学においても、一部内容を変更して、平成7年度入学試験を行うこととなりました。

★主な変更点

①試験日の変更
10月に実施していた指定校推薦入学試験、社会人特別選抜入学試験、帰国子女特別選抜入学試験の試験日を、高等学校からの要請など社会情勢に配慮し、11月に変更しました。

②職業高校特別推薦入学試験の変更
昨年年度で実施していた、職業高校特別推薦入学試験は、競争試験でしたが、入試を11月に変更したことに伴い、指定校推薦入学試験の中にも含めました。

③受験機会の拡大

一般入学試験および入試センター入学試験については、2月と3月に2回実施し、受験の機会を拡大しました。

④入試センター入学試験の試験科目の配重
大学入試センター試験を利用しての入試センター入学試験の科目は、選択科目の幅を拡大するとともに選択科目中高得点の科目を採用し選択することとしました。

★入学試験の種類・日程

①特別選抜入学試験

種 類	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
公認推薦入学試験 指定校推薦入学試験	H 6, 11, 8, 9/9 5	H 6, 11, 27/28	H 6, 12, 8/9
社会人特別選抜入学試験 帰国子女特別選抜入学試験	H 6, 11, 17/18		

②一般選抜入学試験

種 類	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日
一般入学試験(前期)	H 7, 1, 9/10 5	H 7, 2, 4/5 個別試験なし	H 7, 2, 16/18
一般入学試験(後期)	H 7, 1, 25/26		
一般入学試験(前期)	H 7, 2, 13/14 5	H 7, 3, 5/6 個別試験なし	H 7, 3, 19/21
一般入学試験(後期)	H 7, 2, 22/23		

★試験会場

指定校推薦入学試験、社会人特別選抜入学試験、帰国子女特別選抜入学試験、一般入学試験(後期)は、広島会場のみです。入試センター入学試験は、本校会場試験を実施します。公募推薦入学試験および入試センター入学試験(前期)では、広島、名古屋、大阪、姫路、岡山、高松、松山、松江、徳山、福岡、大分、長崎、鹿児島13会場で開催されます。ただし、環境学部の入学試験で実技を選択した場合は、広島でしか受験できません。

同窓会地域支部情報

○福岡県支部発会式

10月15日(日)
福岡国際ホール 17:00~予定
お問い合わせ先
MON建築設計事務所
津村政夫(S46年建築卒)
TEL 092-731-7066
柳川ルミ花壇
山田寿秀(S48年土木卒)
TEL 0942-21-0021
西日本製鋼所
尾辻一則(S47年機械卒)
TEL 093-381-0531
福岡県の皆様には遠って御案内状を差し上げます。さくさんのおきさめのご参集をお待ちしております。

○職場支部結成予定

- ・ヒルタ工業株式会社
- ・株式会社熊平製作所
- ・大和重工株式会社

会費・会報の徴収にご協力を/ 会費・会報をもつと身近なものにしていただくにも、どんな小さな事でもよいですが、皆様方の声を同窓会へお送り下さい。

平成6年度同窓会会員簿簿目録予約
○簿目録 1冊3,000円(送料込み)
○発行予定 平成7年3月発行
○申込み先 会報発行(学生番号)氏名送付先を明記し同窓会事務局へお申込下さい。

先立の日法については、後日報告いたします。(同窓会正会員以外には頒布いたしません。)

(連絡先) 広島工業大学同窓会事務局
〒731-51 広島市佐伯区三宅2-1-1
T E L (0829)21-3121(内5750)
F A X (0829)22-1925

編集後記

みなさんお元気ですか。もうご存知の方たくさんあると思いますが、平成7年4月22日の良い日に、広島工業大学同窓会30周年記念祝賀会が開催されます。同じ空間、教育方針のともに最も多感な時期にもなった仲間が集

います。真方に取ってそれは、ゼミ室ですか、卒業研究打ち込んだ実験室ですか、それとも青春の汗を染み込ませたグラウンドですか。いづれにしても、恩恵や旧友いっせいの特に必要なものにもなり有ります。昔段落のまま気取らずちょっとと宅キャン/ス

に足運んでください。そこには企業社会とは少しちがった風が吹いているはずで、広島工大の同窓生だけが持っている風の中で眠って寝たいしよ。 (同窓会編集委員一四)